

なかしべつ 議会だより

No.139
令和5年10月

Nakashibetsu 議会 ミルク Café



中標津会場の様子

- 主な内容**
- 議会報告会 (P2)
 - 9月定例会 (P3)
 - 委員会代表質問 2委員会 (P4・5)
 - 一般質問 7名 (P6～9)
 - 道内視察研修 (P11)

議会ホームページ



Nakashibetsu 議会 ミルクCafé を開催

(第13回議会報告会) 令和5年7月30日(日)

中標津会場 しるべつとコミュニティホール 13時～15時
計根別会場 交流センター 大集会室 19時～21時

昨年はコロナ感染拡大により2度の延期にもかかわらず中止となりました。

今般、1年ぶりの開催でしたが、中標津会場に12名、計根別会場に14名、合わせて26名の方に参加いただきました。

第1部は、初めてワールドカフェ方式による「ミルクCafé」を行い、グループに分かれテーブルを囲み、常任委員会ごとに設定したテーマを基に、終始、和やかに意見交換が行われました。

終了後は各テーマの1グループから発表していただき、参加者全員で意見を共有しました。



テーマ1
(総務文教)
高めよう！
一人ひとりの
防災意識

テーマ2
(厚生)
ごみ減量
私の工夫
教えます！

テーマ3
(産業建設)
もっと飲もう
牛乳！のための
アイデア募集



QRコードからテーマ別意見の内容をご覧いただけます。

第2部は「議会改革について」と題し、議会改革特別委員会江口智子委員長より改革の経緯、議員報酬について報告し、参加者より意見を募りました。内容は以下のとおりです。

中標津会場

- 町民** 議員報酬は社会的に見て少なかつたと思う。その分だけ頑張っていた方がいい。
- 町民** 兼業議員は通年議会で忙しくなるので、兼業との兼ね合いも十分に考慮する必要がある。
- 議員** 改革が進み今の状態でも厳しくなっているが、まずは議会を優先し、報酬増の理解を得るため、さらに頑張っていきたい。
- 町民** 議員の仕事がどういうものなのかなど、議員の日常なお話をできる機会があると議員に挑戦してみようと思える方もいるのではないか。
- 町民** 議員定数が18名から15名となり、仕事量が増える。報酬が増えたとしても、議会運営等がきちんとできるのか。
- 議員** 15名で全力を尽くして答えを出していきたい。

計根別会場

- 町民** 原価方式で町長が305日で週に1日しか休みがなく、その単価と役職無しの議員の単価が一緒なのか。
- 議員** 町長も議員も公職で選ばれ、特別職の公務員という立場である。活動時間で割り返していく考えが最も根拠を説明しやすいものとして、推奨されているものを採用した。議員の時間計算の方法は30分、1時間刻みで積み上げ、集計したものとなっている。
- 町民** オープンな議会を目指していただきたい。議会のライブ配信や動画コンテンツに取り組み、誰でも閲覧できるシステムを作り、視聴した方が感化されて議員を目指すことができるのではないかな。

9月定例会 全議案可決

条例改正案など

令和5年9月定例会を9月11日から15日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

■令和5年度各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第4号）

2億1153万7千円を追加し、総額166億3764万6千円となりました。

（単位：千円）

	総務費	民生費	衛生費	農林業費	土木費	教育費	災害復旧費	計
補正額	8,628	16,634	72,610	58,277	41,900	4,100	9,388	211,537

【主な補正内容】

《介護・障がい福祉サービス提供体制維持支援事業》

【事業費：1204万円】

介護サービス事業所（34事業所・854万円）・障がい福祉サービス事業所（13事業所・350万円）
支援内容【保有車両台数 2万5千円/台、入所・利用定員数 1万円/人（通所短期入所系）

1万5千円/人（入所系）】

《新型コロナワクチン接種事業》

【事業費：4148万3千円（全額国費）】

初回接種を終えた全ての者を対象に実施する。（1万8420人）

《農業生産資材高騰対策事業（飼料高騰対策）》

【事業費：5827万7千円】

町支援額：2600円/経産牛1頭（2万2414頭分）

他 地域おこし協力隊起業支援補助金：100万円、中標津空港利用促進期成会負担金：200万円

西竹47線道路復旧事業：790万円（道路補修工事費190万円含む）、街路補修工事：4000万円

農業高校災害復旧事業：338万8千円

◇介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

補正内容：支払基金交付金等返還金

◇簡易水道事業会計補正予算（第1号）

補正内容：未収金等の確定（地方公営企業法適用に伴い
今回のみ）

◇下水道事業会計補正予算（第1号）

補正内容：未収金等の確定（地方公営企業法適用に伴い
今回のみ）

■報告

◇令和4年度健全化判断比率について

◇令和4年度資金不足比率について

※実質赤字はなく、健全な財政状況です。

■条例の一部改正

◇中標津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

	議 長	副 議 長	常任委員長・議会運営委員長 議会広報特別委員長	議 員
改正前	306,000 円	245,000 円	222,500 円	200,000 円
改正後	361,000 円	300,000 円	284,000 円	255,000 円

◇こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について

■その他

◇令和4年度中標津町水道事業会計剰余金の処分について

◇令和4年度中標津町町立中標津病院事業会計剰余金の処分について

◇北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更について

決算審査特別委員会を設置しました

本年も昨年に引き続き、議長と監査委員を除く16名の委員で審査を行います。

また、全委員で審査する場を増やし、より充実した審査体制で臨みます。

なお、委員長には千葉清正議員、副委員長に宗形一輝議員が選任されました。

9月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 作況状況について
4. 令和5年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 各種大会等の出場結果について
2. スポーツ合宿の誘致について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

委員会 代表質問

委員会代表質問の全文をこちらのホームページに掲載しています。

<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/iinkaidaihyousitumon/>



総務文教 常任委員会

質問 防災について



佐久間 ふみ子 副委員長

質問1

根室管内5市町防災基本協定について

千島海溝巨大地震や近隣国の脅威を見据え、根室振興局主導で基本協定の見直しおよび運用マニュアルの策定について伺います。

町長答弁

基本協定は、管内5市町が相互に協力するための基本的事項を定めたものです。
 実施に関して必要な事項は、広域的な訓練と合わせ連携を図り進めてまいります。

質問2

退職自衛官の採用について

災害時、初動の混乱時における自衛隊等関係機関との調整・連絡や自治体内の災害対策本部等の運営について、町としての

見解を伺います。

町長答弁

退職自衛官の持つ経験やスキル、自衛隊との繋がり的一面においてもメリットがあると考えますが、どのような人材・立場で任用することが最適切か、様々な要素を検討してまいります。

質問3

防災の日の活用について

北海道東方沖地震を機に設定した、「中標津町防災の日」(10月4日)を中心に全町挙げて防災訓練を実施する機会としてはいかがでしょうか。

町長答弁

来年度実施予定の総合防災訓練で、どのようなことができるか検討してまいります。

質問4

Jアラートへの対応について

広範囲の住民に周知するための予算を措置する考えはありますか。

町長答弁

費用対効果を含め検討してまいります。

厚生 常任委員会

質問

町内会加入率向上に向けた町の取り組み



鈴木 克弘 委員

質問

本町の町内会は、平成24年度調査では市街地で55.8%の加入率となり低下が問題となっていました。

同年に制定された「自治基本条例」には、地域課題を解決するため適切な支援を講ずることとされています。

しかし、令和4年度では、町内会加入率38.4%と低下の一途をたどっています。

このままでは地域コミュニティの中核である町内会が存続できなくなります。

加入率が簡単に回復することは非常に困難と思われますが、減らさないことは当事者の町内会だけの問題ではなく、行政も議会も本気で努力しなければならぬと考え、3つの提案をさせていただきます。

1点目 「町内会活性化推進会議」の設置です。

関係団体・企業等、多種にわたる人材で組織し、全町をあげて問題解決に取り組むこと。

2点目 積極的なPR活動のため町民の目に触れ印象を与える町内会加入への「のぼり」を設置し、意識を高めること。

3点目 多くの情報を保有する、地域・まちづくりのコンサルティングに本町の課題をサポートしていただくこと。

町長答弁

1点目 推進会議の設置は重要な視点と考えています。

気づき、学びの場として、フォーラム等の開催と合わせて研究してまいります。

2点目 目に触れる様々な場所での「のぼり」を掲示し、意識高揚を図るべく、全町連と協議してまいります。

3点目 コンサルティング・専門家などへ相談も含め、他地域の好事例の研究、実施の可能性を全町連と共に模索してまいります。

加入率の維持、増加に向けて一歩踏み込んだ取り組みを進めてまいります。

意見書



詳しい内容はホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 安藤 美佳 議員

保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書

提出者 阿部 隆弘 議員

2024年度国家予算編成における教育予算確保・拡充、就学支援の充実に向けた意見書

提出者 佐藤 武志 議員

緊急要望

詳しい内容はホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



「学校における熱中症対策に関する緊急要望書」を手交

7月18日、19日に学校視察を実施し、暑さ対策の要望を受け、9月15日、後藤一男議長、鈴木克弘副議長、江口智子総務文教常任委員長・佐久間ふみ子副委員長より山田康司教育長へ、要望書を手交しました。



人事案件

教育委員会教育長の任命について同意しました。

任期 令和5年10月1日から
令和8年9月30日



やまだ こうじ 山田 康司 氏

教育委員会委員の任命について同意しました。

任期 令和5年10月1日から
令和9年9月30日



よしもり こうき 義盛 幸規 氏

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 公共施設等に冷房設備を

答弁 必要性和優先度を判断し検討してまいります

あべ たかひろ 阿部 隆弘 議員

質問

役場庁舎、支所、町有会館、学校施設、社会教育施設等は指定緊急避難場所・指定避難所に指定され、冬の暖房対策はもちろん、この気象変動により、夏の熱中症対策として、冷房設備の整備は必要で、保育所、児童館、保健センター等の対応は十分でしょうか。

学校においては、臨時休業等の対応は実施していることと思いますが、幼児児童生徒の熱中症対策は急務と考えます。

簡易な冷房設備も含め、民営の町内会館等への冷房対応などもこの気象変動に対応した設備が必要で、民間の避難所への冷房設備提供についても行ってほしい。



町長答弁

とが重要と思います。

現在の公共施設での冷房設備の整備状況を把握し、早急に整備を進めるべきと考えますが町長の見解をお聞かせください。

役場庁舎をはじめ、冷房設備を有する施設はあるものの、施設内の一部に限定した設置で、全館を賄う設備を有する施設はない状況です。

各施設では、扇風機の活用、また、冷房設備のある施設では、設備のある部屋から冷気を流す工夫などにより、暑さ対策を行っております。

今年は、防災用機材として保管していたポータブルクーラーを、熱中症のリスクが高い子どもが利用する児童館で活用するなどの対応をしたところです。

施設の利用者層や利用頻度、効果的な設置スペースなど、必要性和優先度を判断したうえで、検討を進めてまいります。

質問 クーリングシェルターの運用を

答弁 必要性などを判断し検討を進めます

まつむら やすひろ 議員
松村 康弘



質問

以前にも「猛暑シェルター」の設置についてという表題で質問をしています。が、当時は町財政も逼迫しており国の支援も得られない状況でした。

それでも自らそれを実践し始めた自治体があり、今般、環境省所管の法律が変更され、クーリングシェルターの設置と運用ができるようになりました。

8月24日には全道で熱中症警戒アラートが発表され、テレビでは美幌町の公民館を町民に開放する様子が放送されていました。

どこにも逃げ場のない熱風の吹きすさぶ中、救急車のサイレンを聞いた際に、このクーリングシェルターの設置と運用を図るときに

考えます。

町長答弁

気候変動適応法が改正され、気温が著しく高くなることにより、重大な健康被害が生じる恐れのある場合には、熱中症特別警戒情報や指定暑熱避難施設の活用を含め行政による「公助」の積極的な実施等の対策を行うとされました。必要性と優先度を判断したうえで検討いたします。

再質問

公営住宅に隣接する町内会館などは優先度が高いと思いますが、検討いただきたい。

町長答弁

緊急度、必要度を見極めたうえで設置を検討してまいります。

他の一般質問

●東小学校の天窗に遮熱塗装を

●庁舎等の冷房付与を

質問 带状疱疹ワクチンの助成をすべき

答弁 令和6年度の実施に向け検討してまいります

さくま ふみこ 議員
佐久間



質問

带状疱疹は、過去に水ぼうそうに罹患した方が加齢や疲労、ストレスなどで免疫力が低下し、体内に潜伏していたウイルスが再燃、発症するといふものです。

その症状は、水膨れを伴う赤い発疹が帯状に広がり、激しい痛みを伴うことも少なくありません。

発疹が治った後も痛みが数か月間続く症状は、带状疱疹後神経痛の後遺症で患者の約7〜25%に発症し、痛みが続く症状です。

こうした带状疱疹の予防にはワクチンが有効とされ、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があります。

生ワクチンは1回のみの接種で約8千円、予防効果は、約50%の発症を抑え、不活化ワクチンは1回当たり約2万円、2回接種が必要で、約97%の発症を抑える効果があるといふことです。

しかし、両ワクチンとも全額自己負担のため、特に年金生活者にとって出費は大変大きく、接種をためらう方が多いと聞きます。

現在道内でも独自の制度を設けて、接種費用の助成を行っている自治体は増えています。

接種を希望する方へ費用の助成を実施すべきと考えますが、町長のお考えをお聞かせください。

町長答弁

带状疱疹予防ワクチンの公費助成については、町立病院の院長からも提言を受けていることから、令和6年度の実施に向け検討してまいります。

質問 小児医療費の無償化を

答弁 子ども・子育て施策の充実に向け検討します

江口 智子 議員



質問

鈿根管内13市町村のうち、10市町村は18歳までの医療費が助成されていますが、本町では通院と歯科診療が6歳まで、入院は12歳までの助成となっています。

本町でも拡充していくべきと考えますが、仮に15歳までの通院および入院費用を無償化した場合、さらに18歳まで無償化した場合、その費用の試算額と無償化を実施する場合の課題を御聞かせください。

町長答弁

所得制限を撤廃し、本人負担分を全額助成した場合の試算額は、0歳から中学生までが6400万円、高校生まで拡大した場合は

7600万円となります。既に実施している乳幼児医療費助成制度による本町負担分の約800万円の予算を合算すると8400万円と、多額の予算が必要となり、財政的に難しいところです。

しかし、中標津町子ども・子育て支援事業計画の内容や、こども家庭庁による今後の子育て支援等を踏まえ、本町に必要な施策を総合的に判断し、充実に向け検討します。

再質問

子どもの医療費を助成する自治体をインターネットで容易に比較検討できる時代にあつて、移住定住の観点から本町が選ばれない要因とならないよう、財源の見通しが立ったときには、子育て支援を優先して進める考えがありますか。

町長答弁

働く女性の支援と、子育てをしつかりできる町を目指して今後も進めたいと考えています。

質問 大規模震災に備えた瓦礫除去等の支援計画策定を

答弁 広域的な連携が図られるよう進めてまいります

高橋 善貞 議員



質問

「鈿根地方道路防災連絡会議」は、令和5年1月に「鈿路・根室地域道路啓開計画（初版）」を作成し、鈿路開発建設部が公表しました。

この計画は、地震で道路崩壊・倒壊建物により寸断された道路を早期に瓦礫除去等を行い交通開放して、緊急車両や被災者救助の救援ルート確保することを目的としています。

（これを啓開【けいかい】といいます。）

この計画には、鈿根管内の市町村を含めた59の機関が検討・策定し中標津町も加わっていますが、計画の内容は海岸線の津波被害想

定を前提にし、中標津町の立ち位置が明確に描かれていません。

8月30日に開催した陸上自衛隊第5旅団講師の防災研修では、2011年3月の東日本大震災で、岩手県遠野市が隣接する沿岸部6市町の後方支援拠点として、災害対応にあたつたことを取り上げ「海に接していない本町は遠野市と同様の役割が想定される」とのお話がありました。

冬期間の除雪体制など地域の実情に合わせた支援体制を含め、自治体独自の道路瓦礫除去計画（いわゆる啓開計画）更に隣接自治体の支援計画を策定すべき時期と思いますが、町長のお考えを御聞かせください。

町長答弁

本町は根室管内で唯一津波のない内陸に位置し、道路が寸断された場合、空港を拠点とした支援活動が可能であり、関係機関と広域的な連携が図られるよう進めてまいります。

質問 地域おこし協力隊員の定住促進を

答弁 定住に向けた展望が描ける環境整備に努めます

ひらやま ひろみ
平山 光生 議員

質問

北海道の地域おこし協力隊員定住率は72.1%、中でも地域で就業・起業する隊員が各4割と、定住・定着を図る取組が促進されています。

しかし、本町の定住率は15%で北海道の定住率を大幅に下回っています。

ミスマッチを防ぐための任期前のお試しやインターンにかかる経費も、特別交付税対象となつていますが、対象となる活動費やサポート費などの経費をつまなく活用している団体や兼業を許可している団体も多いです。

さらに、安平町では起業準備を行いながら、地域おこし協力隊として活動し、起業・定着というサイクルができています。



本町でも、関係人口創出事業と併せて取り組むことで、若者が挑戦できる町、より住みやすい町に繋がるを考えますが、町長の見解はいかがでしょうか。

町長答弁

まずは本町として隊員に求めるイメージを整理したうえで、隊員のスキルやライフプランと本町のニーズをしっかりと組合せた使命を具体化し、隊員自身が本町での定住に向けた展望が描ける環境整備に努めてまいります。

引き続き、募集する際の条件整備をはじめ、採用後の信頼関係とサポート体制の構築について検討を重ねてまいります。

再質問

活動のやりがいや精神的安心感など具体的にどの面を優先に検討するのでしょうか。

町長答弁

給与面が待遇が、隊員達と情報交換しながら努力を重ねます。

質問 生ごみ処理機購入補助を

答弁 購入補助を行う予定はありません

さの や な み
佐野 弥奈美 議員

質問

人口減少に伴い、可燃ごみの搬入量は10年前から比べ減っていますが、廃出量はあまり変わってはいません。

平成4年から15年まで生ごみ処理容器・電動式処理機の購入補助を行い努力されてきましたが、効果はどうだったのでしょうか。

現在の処理機は当時に比べ、さまざまな機能が向上しています。

購入補助により減量化が進むのではないのでしょうか。

町長答弁

12年間の支援で約1500件の普及を図り一定の成果が見られましたが、費用対効果が低く廃止をしています。



再質問

根室北部廃棄物処理広域連合の負担金の削減に見合う補助額にはならず、費用対効果が大きく改善しない限り補助予定は今のところありません。

水切りの徹底は以前から町民にお願いしています。が、水分を含むごみは生ごみや高齢化などにより紙パルプやペットシートなどが増えています。

燃焼率低下につながるこれらのごみを減らすには、生ごみを乾燥させ軽量化にするのが良いと思います。

町長答弁

効果については、補助の金額が大きく効果額のほうが少ないという結果が出ました。

広域連合の燃焼機械も改善していかなければならない時期ですので、全体的なごみ処理費用の低減を目指していきたいと思っています。

進んでいます!! 議会改革

議員報酬増額が 決定しました



QRコードから改革のあゆみや町民へのお知らせチラシ、視察の内容をご覧くださいだけです。

本年4月3日に町長へ要望した議員報酬の見直しに対し、条例に基づき中標津町特別職報酬等審議会が設置され、審議を重ねていただきました。

7月24日に審議会から町長に対し、議員報酬の増額は必要との結果が報告され、7月27日に町長より回答を受けました。この結果については、議会報告会と合わせて、広報なかしべつ9月号でも、町民の皆さまにお伝えしています。

町長は審議会の答申を尊重し、9月定例会に「中標津町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」を上程し、全会一致で可決しました。

これにより、次回改選時（令和6年9月3日任期開始）より、議員報酬（P3参照）は改正されます。

なお、審議会からは、4項にわたる付帯意見（QRコード参照）が提出されており、住民の信頼と期待を得られる議会を目指し、議員個々において重く受け止めるとともに、改選後の新体制を速やかに運用できるよう、今期において更なる改革を進めてまいります。



町長より回答を受ける後藤議長(写真左)

議会改革特別委員会委員長 江 口 智 子

視察報告

7月11日（火）池田町、12日（水）幕別町にて、広報広聴（インターネット中継等）、通年議会等について視察してきました。（QRコード参照）



全道議長会議員研修会

令和5年7月4日（火）
札幌コンベンションセンター

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。

「ウクライナ危機後の世界と日本」

ひょうご震災記念21世紀研究機構

理事長 五百旗頭 真氏

元防衛大学校長の経歴を持つ講師より「日本の外交・安全保障」と「プーチンのウクライナ侵攻」などについての講演でした。

「日本政治の舞台裏」

政治ジャーナリスト 田崎 史郎氏

テレビでおなじみの講師より「岸田政権」と「解散総選挙」の展望を見すえた内容でした。



道内視察研修報告

令和5年7月5日(水)

北海道町村議会議員研修会に合わせて、道内視察研修を常任委員会ごとに実施しました。

総務文教常任委員会

南幌町・栗山町

道央圏に位置する南幌町と栗山町は、ともに札幌市から車で約1時間前後の距離に位置し、若者や子育て世代の人口減少対策について、特徴的な取り組みを視察してきました。

●南幌町役場

子育て世代住宅建築助成最大200万円を補助し、子育て支援や環境の整備に取り組み、まちの活性化を図っていました。「南幌町子育て世代の定住促進及び良好な住環境の形成に関する事業」で、北海道知事賞を受賞しました。

●栗山町役場

「くりやま若者シティプロモーション」戦略プランで27もの事業に取り組み、「くりにイトするまち」栗山町として、愛着・誇り・自信をもてる町づくりをしていました。



栗山町役場にて

厚生常任委員会

室蘭市・札幌市

今般の道内視察は、本町の町内会加入率の急激な減少に問題意識を強め、先進自治体や民間のコンサルタントを視察し、代表質問に繋げることを目的としました。

●室蘭市役所

「室蘭市町内会・自治会活性化基本方針」策定への経緯と現状の説明を受け、情報発信、学校を通じた子どもたちへの啓発、町民にコミュニティの危機を訴えるシンポジウムを開催する必要性を強く感じました。

●株式会社グローバル・デザイン

全国の町内会の現状と必要性・価値について説明を受け、子ども向け事業の重要性、町内会こそがこれからの地域コミュニティの中核であることを認識し、アドバイザー導入の必要性を強く感じました。



室蘭市役所にて

産業建設常任委員会

江別市・恵庭市

●ココルクえべつ

平成29年に全世代を対象に安心できるまちづくりを目的に「生涯活躍まち整備事業」として、福祉を中心に市と事業者が協力し、令和3年にオープンした施設となっていました。

●北海道立総合研究機構さけます内水面水産研究所本場

海産資源が豊富であることと北海道の養殖技術の現状から、養殖に力を入れる業者が少ないことが課題との説明を受けました。

●株式会社明治恵庭工場

最新の工場は、環境との調和に向けた取り組みを目標としてCO₂排出量・水の使用量削減を目指しているとのことでした。

生産ラインは少人数で、梱包のダンボールの運搬から牛乳のパッケージまで自動で行われていました。



株式会社明治恵庭工場にて

議会モニター会議

と き 令和5年7月13日（木）13:30～15:00
ところ 役場 301号会議室

7月13日に議会モニター9人と全議員参加により「ミルクカフェ」（議会報告会）のリハーサルを行いました。

テーマは身近な「町立病院」「開陽台」の2点で、モニター側も議員側も真剣に意見を出し本番さながらのグループワークが展開されました。

今後の行政運営に生かせる貴重な意見もありましたので、担当の常任委員会は継続し議論していきたいと思います。

続いて、江口智子議会改革特別委員長より「議員報酬の改定」について経過説明を行い、私からは、

「議会モニター」の役割について説明しました。



議会運営委員会 委員長 高橋 善貞

全員協議会「オンラインセミナー」

と き 令和5年7月28日（金）14:00～15:00
ところ 役場 1・2号委員会室

「これだけはやってはいけない議員活動の注意点」

第一法規株式会社主催

帖佐 直美 弁護士（元流山市政策法務室長）

自治体議員の仕事、議場での注意点、議場の外での注意点を各法律や判例を基に説明いただき、再認識することができました。



議会広報特別委員会 委員長 阿部 隆弘

釧根林活連絡会議第24回総会

と き 令和5年8月22日（火）13:50～14:30
ところ 釧路工業技術センター 会議室

3年ぶりの対面開催となり、令和5年度事業計画、予算が承認されました。

林業従事者の高齢化と担い手不足により、機械化推進が急務で、その解決に向けた取り組みを進めています。

総会終了後、北海道立総合研究機構自然環境部長の釣賀一二三氏による「ヒグマの出没増加の背景とこれからのヒグマ対策に必要な体制整備」についての記念講演がありました。



林活議連 幹事 松野 美哉子

全員協議会「第2回防災力アップ講座」

と き 令和5年8月30日（水）13:30～15:30
ところ 役場 302号会議室

陸上自衛隊帯広駐屯地第5旅団司令部幕僚長・山之内竜二等陸佐を講師に迎え、「大規模震災への備え」と題し、全員協議会を開催しました。

千島海溝地震など想定される大災害が発生した際の災害対処計画の概要、旅団としての取り組みや自治体との連携など、具体的な計画について学び、議員からは活発な質問が飛び交いました。

内陸に位置する本町は、東日本大震災の折、沿岸部の後方支援拠点となった、岩手県遠野市と似た環境にあります。

自衛隊としても、中標津空港を活用したプッシュ型の支援活動拠点と考えていることから、町や関係機関との速やかな連携が図られるよう、委員会として今後も調査研究を継続します。



総務文教常任委員会 委員長 江口 智子

総務文教常任委員会

活動レポート



総務部

●防災について

・7月6日、北海道中標津支援学校と「災害時等相互応援に関する防災協定」を締結し、地区の指定避難所であるシルバースポーツセンターを補完する施設として協力していただきます。

・防災リーダー研修や避難訓練実施の報告を受けました。

委員 防災リーダー研修は、

高校生にも周知されますか。

担当 農業高校、中標津高校

に生徒数分のチラシを配布しています。8月1日に株式会社

社高橋工業より、町内に所有

のホテルクテコンを災害時に

要配慮者の避難場所として、

既存の中標津町旅館組合の協

定に加え、締結するとの報告

を受けました。

委員 福祉避難所プラットフォームと

の兼合いはどうなりますか。

担当 症状の重い方等に対応

したいと思っています。

●ふるさと応援制度推進事業について

業について

本年10月より中間事業者と

して、中央コンピュータサ

ービス株式会社に業務委託す

ること、ふるさと納税のル

ールが改正されることの説明

を受けました。

委員 ルール改正により、本

町に影響はありますか。

担当 地場産品に該当するか

否かは注意していたので、今

後も影響はないと思います。

●大学交流推進事業について

今年度は3件の事業申込み

がありました。

・8月13日に旭川市立大学の

看護学生2名、町内の高校生

3名、町立病院看護師2名と

の座談会がプラットフォームで開催さ

れました。

・「みんなが主役に地域(まち)

づくり」をテーマに大学生が

フィールドワークを行い、町

の課題や魅力を町へ提案する

「ミチシロカーン北海道中標

津」が行われました。

・小樽商科大学他の学生によ

りフィールドワークを行い、

後日に成果発表が計画されて

います。

教育委員会

●330。開陽台マラソン

後継事業について

11月23日に「なかしべつち

ヤレンジンマラソン2023」

が330。アリーナをスター

トに、10kmから1kmのコース

で開催するとの報告を受けま

した。

●学校視察について

7月18日、19日に町内の小

中学校・義務教育学校・農業

高校を視察し、授業参観・運

営状況やコミュニケーション

の取り組みなどについて説

明を受けました。

また、暑さが続き児童生徒

の体調不良も多く、暑さ対策

への要望がありました。



広陵中学校視察の様子

委員会開催

7月18日

7月19日

7月27日

8月24日

(松野 美哉子 議員)

厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●町立病院の管理運営について

令和5年度7月の入院・外来は患者数・診療収入ともに前年実績を上回る状況との説明を受けました。

委員 予算を大きく上回っています。スタッフの疲弊は、

担当 入院病床数最大130床の時もありました。職員も忙しく、疲弊軽減のためにコンサルとも協議し、病床を効率的に運用するための管理・調整ができるよう検討している最中です。

●札幌丘珠⇌根室中標津線を利用した「地域医療支援」について

医師確保対策としての支援調整により、中標津町とJAL・HAC、三樹会泌尿器科病院の「地域医療支援パートナーシップ連携」の合意、根室振興局管内市町の常勤医師確保に向けた取り組み、物品輸送協力について、説明を受けました。



地域医療支援のイメージ図

今件は、JAL・HACより地域課題の解決支援ができないかと本町に提案をいただき、泌尿器科医の確保に困難な現状を解決するため、札幌市から北海道、北海道から医

師会を通じ三樹会泌尿器科病院から医師派遣が決定した経緯があります。

委員 常勤医ではないが医師確保に協力してくれるということですか。

担当 HACで医療支援目的にのみ使用できる航空券「地域医療パスポート」を確保してくれるということです。

町民生活部

●住民生活・環境衛生事業について

・広域バス路線について
標津線代替バス路線（標津標茶線・中標津線）10月再編に向け、減便による利用状況やバス事業者の影響等考慮すべき内容を協議し、9月中旬までに報告したいとの説明を受けました。

中標津線・運行事業者を株式会社阿寒バスに変更し、「中

標津別海線」で運行。

標津標茶線…時刻の変更、料金の値上げを実施して運行。

・マイナンバーカードの交付状況について

委員 当町の普及率、紐づけによるトラブルはありますか。

担当 7月16日現在、普及率76%で、誤交付・紐づけのトラブルも報告はありません。

・合葬墓について
供養に係る道内の施設整備状況について説明があり「線香をあげる」「ろうそくを灯す」行為は宗教的行為となるため、線香置やろうそく置、献花台を設置しないとの報告を受けました。

委員会開催 7月24日

8月23日

(平山 光生 議員)

産業建設常任委員会 活動レポート



建設水道部

●建設工事発注状況等について

7月24日現在の発注状況のうち、令和4年度から継続費分の広陵中学校長寿命化改修関連4工事と1委託業務は全て発注済みで、工事進捗率は48～65%で推移しています。

令和5年度予算の発注率は、建設工事発注済額18億4千4百万円（73.6%）・委託業務発注済額1億9千2百万円（78.6%）との報告を受けました。

●集中豪雨による道路・河川の災害復旧工事について

7月1日の豪雨により川西地区を流れる「ボンシヨカンナイ川」の河岸が決壊し民家近くまで崩壊したため、応急対策工事を行う説明を受けました。

経済部

●観光振興について

①令和4年度の観光客入込客数等について、入込総数は20万2千人で（対前年比1.32倍）、うち宿泊者数5万人、日帰り客15万2千人となりました。

また、中標津町の訪日外国人宿泊者数は887人で、対前年比30倍と大幅に増加し、根室管内全体では3千410人で対前年比13倍に増加した報告がありました。

委員からは、調査における観光客とビジネス客の区別をどのように行なったかが曖昧

併せて、7月25日の豪雨による「町道西竹47線道路」の切土法面が崩壊し通行不能となり、早急に土砂の撤去工事を行い交通止め解除を行う報告がありました。

で、調査方法を検討すべきとの意見がありました。

②標津岳登山道整備について
「コロナ禍で3年間閉鎖が続く、熊笹や倒木の影響で通行困難な状況から、6月4日に予定していた「山開き」は中止しました。

6月25日に中標津建設業協会と有志ボランティア30名の協力により、刈り払い機・チェーンソー等により登山道を整備した報告がありました。

委員からは、熊笹刈りの特殊刈り払い機の使用や、熊対策のハンターが同行していない等、ボランティアの範囲を超えているとの指摘がありました。

●なかしべつ観光協会との懇談会について

7月3日に開催した懇談会では、観光協会の慢性的な人材不足と、現在の四人体制で

は活動が十分にできない実情について説明がありました。さらに9月をもって「ふるさと納税事業」の収入がなくなることから、今後の運営が非常に厳しい状況にあることを過去の決算書等を基に説明を受けました。



なかしべつ観光協会との懇談会

委員会開催 7月3日

8月2日

8月28日

（高橋 善貞 議員）

令和5年7月から9月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
7月2日	釧路駐屯地創立70周年及び第27普通科連隊創設61周年記念行事(釧路町)	議長外2名	16日～17日	議会広報研修会(札幌市)	全 委 員
3日	正副委員長会	三常任正副委員長	22日	釧路林活連絡会議総会(釧路市)	中標津林活役員5名
	産業建設常任委員会(観光協会との懇談会)	全 委 員	23日	厚生常任委員会	全 委 員
	釧路林活連絡会議役員会(釧路市)	阿部林活事務局長	24日	総務文教常任委員会	全 委 員
4日	北海道町村議会議長会主催議員研修会(札幌市)	欠 席 3 名	27日	中標津消防団総合訓練	議 長 員
5日～	道内視察研修		28日	産業建設常任委員会	全 議 員
6日	総務文教常任委員会(南幌町・栗山町)	欠 席 2 名	30日	全員協議会(第2回防災力アップ講座)	全 議 員
	厚生常任委員会(室蘭市・札幌市)	全 委 員	31日	9月定例会議件事前説明	正副議長・正副議運委員長
	産業建設常任委員会(江別市・恵庭市)	欠 席 1 名			3 常任委員長
9日～	根室地方総合開発期成会要望活動(札幌市・東京都)	議 長			全 委 員
12日	議会広報特別委員会	全 委 員	9月2日	議会改革特別委員会	議 長 員
10日	議会改革特別委員会視察(池田町・幕別町)	全 委 員	3日	第28回労館まつり	議 長 員
11日～	議会運営委員会	全 委 員	5日	別海駐屯地創立58周年記念行事	議 長 員
13日	全員協議会	全 議 員	6日	議会広報特別委員会	全 委 員
	議会モニター会議	全 議 員	11日	議会運営委員会	全 委 員
18日～19日	総務文教常任委員会(学校視察)	全 議 員		総務文教常任委員会	全 委 員
20日	中標津神社例大祭御神幸行列	欠 席 1 名		厚生常任委員会	全 委 員
23日	自民党北海道第七選挙区支部政経セミナー	正 副 議 長		産業建設常任委員会	全 委 員
24日	厚生常任委員会	正 副 議 長		議会運営委員会	全 委 員
26日	根室北部廃棄物処理広域連合臨時会、中標津町外2町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部衛生組合 各議会臨時会	関 係 議 員		9月定例会本会議(1日目)	全 議 員
27日	総務文教常任委員会	全 委 員		決算審査特別委員会	全 議 員
28日	全員協議会(オンラインセミナー)	欠 席 1 名	12日	全員協議会	全 議 員
	議会改革特別委員会	欠 席 1 名		厚生常任委員会	全 委 員
30日	議会報告会	欠 席 2 名	13日	産業建設常任委員会	全 委 員
8月2日	産業建設常任委員会	全 委 員		総務文教常任委員会	全 委 員
	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会(札幌市)	阿部林活事務局長	14日	議会運営委員会	全 委 員
3日	正副委員長会	三常任正副委員長	15日	全員協議会	全 議 員
12日	なかしべつ夏祭り安全祈願祭	議 長		9月定例会本会議(2日目)	全 議 員
	北方領土返還要求中標津住民大会	議 長		決算審査特別委員会	全 議 員
13日	なかしべつ夏祭り音頭踊りパレード	議長外11名		学校における熱中症対策に関する緊急要望手交	正副議長・総務文教
	なかしべつ夏祭りコスプレ仮装盆踊り審査	正 副 議 長	21日	正副委員長会	正 副 委員長
15日	中標津町殉公者之碑参拝及び殉公者追悼式	議長外議員14名	22日	議会広報特別委員会	三常任正副委員長
	議会運営委員会	欠 席 1 名	24日	議会広報特別委員会	全 委 員
			25日	当幌開基百周年記念事業	議 長 員
				決算審査特別委員会総務文教分科会	全 委 員
				総務文教常任委員会	全 委 員
			26日	厚生常任委員会	全 委 員
				決算審査特別委員会厚生分科会	全 委 員
			27日	決算審査特別委員会産業建設分科会	全 委 員
			29日	議会改革特別委員会	全 委 員
				地域材利用促進協議会	阿部林活事務局長

議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容については、中標津町議会ホームページからご覧いただけます。



●広域連合・一部事務組合の議会
(7月26日開催)

北海道町村議会議長会 議会広報研修会

令和5年8月17日(木)
ポールスター札幌 2階

(一社)自治体広報・広聴研究所
代表理事・広報アドバイザー

かな い しげ き
金井 茂樹氏

「伝わる議会報の編集ポイント」では、わかりやすい構造の見出しと流れを確保するためのロード文の重要性を理解しました。

「議会広報クリニック」では、当別町・共和町・比布町・上川町の広報誌を基にアドバイスをいただきました。



議会広報特別委員会 委員長 阿部 隆弘

議会だよりに対するご意見をお寄せ下さい。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町役場

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp> ・メールは gikai@nakashibetsu.jp

発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会

議会ホームページ

